

平成28年度事業報告

(1) 会員数の動向

種 別 \ 年 度		27年度末 (28.3.31)	28年度末 (29.3.31)	備 考
正会員	企業会員	57	58	+1 賛助会員より移行
	団体会員	7	7	±0
	個人会員	279	277	-2 (+8-10)
	計	343	342	-1
賛助会員		32	31	-1 企業会員へ移行
学生会員		1	1	±0
合 計		376	374	-2

(2) 会議

①第5回定時総会

平成28年5月24日、メルパルク東京（東京都港区）において、正会員247（内委任状出席181）の出席により開催した。今村会長の開会挨拶に続き、林野庁木材産業課長小島孝文様よりご祝辞を頂戴し、その後、議長に今村会長を選出して、議事次第により審議が進められた。審議事項である平成27年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（総会議事録署名人数、副会長・常務理事の定数に関する事項）、理事及び監事退任に伴う役員選任に関する件は、全て原案通り承認された。また、報告事項である、平成27年度事業、平成28年度事業計画及び収支予算が説明された。

②理事会

i. 第1回理事会

平成28年5月9日、三会堂ビル（東京都港区）において開催し、第5回定時総会で審議頂く議題について検討した。

第5回定時総会の議題は、審議事項として平成27年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（総会議事録署名人数、副会長・常務理事の定数に関する事項）、理事及び監事退任に伴う役員選任、報告事項として平成27年度事業報告、平成28年度事業計画及び収支予算、第27回木材保存技術奨励賞及び第13回木材保存学術奨励賞の受賞者の発表とすることが承認された。

また、理事会報告事項として、前回理事会以降の事業、個人会員加入（9名）、木材保存剤等の登録更新（42製品）、変更届等について説明された。

ii. 第2回理事会

平成28年9月8日、商工会館（東京都千代田区）において開催し、40周年記念事業、IRGの日本での開催立候補、新規認定登録（5製品）、遅効性薬剤の室内防蟻試験方法等の検討委員会を設置することについて審議し、それぞれ承認された。

また、報告事項として会長及び常務理事の自己の業務執行状況（定款22条第3項に規定）、前回理事会以降の事業、賛助会員から企業会員への移行、木材保存剤等登録更新（36製品）・同変更届（4件）、平成28年度木材劣化診断士資格検定講習・試験、第34回木材保存講座兼平成28年度木材保存士更新講習会、第36回木材保存士資格検定講習・試験の開催等について説明された。

iii. 第3回理事会

平成29年2月16日、三会堂ビル（東京都港区）において開催し、第6回定時総会の招集、平成29年度事業計画（案）及び同収支予算（案）、参事等の設置（新設）に伴う定款の改訂、IRG日本大会の開催年度・概算予算、木材保存剤等の新規認定

登録（1製品）について審議し、それぞれ承認された。

また、報告事項として会長及び常務理事の自己の業務執行状況（定款22条第3項に規定）、前回理事会以降の事業、木材保存剤等登録更新（1製品）・同変更届（4件）、個人会員（6名）の加入と会員数の状況、第33回年次大会の開催概要等について説明された。

③正副会長会議

平成28年4月7日、8月17日、10月4日、12月26日の合計4回を協会会議室において開催し、事業の進捗状況の確認、企画運営委員会審議事項、木材保存学入門改訂3版の増刷、IRG日本大会の開催、協会の運営等について検討し、それぞれを担当する委員会等に必要な対策を講じる様指示された。

(3) 委員会及び部会活動

①企画運営委員会

i. 第1回企画運営委員会

平成28年4月21日、協会会議室において開催し、第1回理事会へ提案する議題として、第5回定時総会の議題について検討し、審議事項として、平成27年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（総会議事録署名人数、副会長・常務理事の定数に関する事項）、理事及び監事退任に伴う役員選任、報告事項として平成27年度事業報告、平成28年度事業計画（案）及び同収支予算（案）、第27回木材保存技術奨励賞、第13回木材保存学術奨励賞の受賞者の発表とすることが承認された。

また、報告事項として、前回委員会以降の事業等について説明された。

ii. 第2回企画運営委員会

平成28年8月18日、協会会議室において開催し、第2回理事会へ提案する議題として、40周年記念事業、IRGの日本での開催立候補等を理事会の議題とすることが承認された。また、報告事項として前回委員会以降の事業報告、賛助会員から企業会員への移行、木材保存剤等新規認定登録（5製品）木材保存剤等の登録更新（36製品）・変更届（4件）、平成28年度木材劣化診断士資格検定講習・試験、第34回木材保存講座兼平成28年度木材保存士更新講習会の開催、第36回木材保存士資格検定講習・試験の実施等について報告された。

iii. 第3回企画運営委員会

平成29年2月10日、協会会議室において開催し、第3回理事会へ提案する議題として、第6回定時総会の招集、平成29年度事業計画（案）及び同収支予算（案）、参事等の設置（新設）に伴う定款の改訂、IRG日本大会の開催年度・概算予算、について理事会の議題とすることが承認された。また、報告事項として前回委員会以降の事業、木材保存剤等の新規認定登録（1製品）、木材保存剤等の登録更新（1製品）・変更届（4件）、第33回年次大会の開催準備状況等が説明された。

②認定委員会

平成28年4月20日メール会議、8月17日、平成29年2月10日、協会会議室において合計3回開催し、木材保存剤等の新規認定登録、登録更新、変更届、規格集の改訂等について審議・検討され、企画運営委員会に報告するとともに、理事会に提案された。

③広報委員会

会誌「木材保存」を発行する為、協会会議室において委員会と幹事会を隔月に合計12回開催し、企画・編集等を行い6回発行（奇数月）した。また、当協会のホームページの充実、メールマガジンの配信を行った。また、拡大広報委員会を平成29年3月19日、アクロス福岡（福岡市）において開催し、平成29年度の活動方針等が確認された。

④木材保存士委員会

「第34回木材保存講座兼平成28年度木材保存士更新講習会」(平成28年12月東京、大阪)及び「第36回木材保存士資格検定講習・試験」(平成29年1月東京)を開催した。

委員会は、平成29年3月8日、協会会議室において開催し、第36回木材保存士の資格検定試験の合否判定及び各アンケートの回答により講習会の開催方法等を検討した。また、今年度終える2講義について、講義の内容及び講師を選び、会長に報告し、承認された。

⑤木材劣化診断士委員会

平成28年度「木材劣化診断研修会兼更新講習会」(平成28年8月東京)及び「木材劣化士資格検定講習・試験」(平成28年9月東京)を開催した。

委員会は、平成28年10月24日、協会会議室において開催し、平成28年度木材劣化診断士資格検定試験の合否判定及び次回の資格検定講習・試験等の実施を打合せた。また、国土交通省の既存住宅インスペクション講習団体の申請の進捗状況が報告され、その後、平成28年12月にインスペクター講習団体としてリストに掲載された。

⑥年次大会運営委員会

平成28年6月13日協会会議室において、第32回年次大会の総括を行った。

また、平成28年9月8日、平成29年3月6日協会会議室において、第33回年次大会及び同時に開催される第6回定時総会の企画、運営等について打ち合わせを行い、準備すべき物品・作業内容・役割分担等が確認された。

⑦授賞選考委員会

平成29年3月17日、ミシェル(福岡市 JR 箱崎駅前)において開催し、平成29年5月の定時総会で授与する「第28回木材保存技術奨励賞」及び「第14回木材保存学術奨励賞」の受賞者の選考を行い、候補者が会長に報告された。

(4) 規程の改訂

①事務局規程 参与職を事務局規程に規定する改訂案が理事会で承認され改訂した。

(5) 事業

①公益目的事業

i. 木材保存に関する調査研究事業【公1】

a. 地域特性に応じた木質部材・工法の開発普及等支援事業(林野庁)

大規模木造建築物の木質外構部材の耐候性向上・維持管理技術を確立する為、全国6か所に劣化状態を確認する為の装置を設置して、定期的に観察し結果を報告書にまとめた。なお、報告会を平成29年2月14日新木場ホールで開催した。

b. 木材劣化診断データ収集

劣化診断士の診断技術の向上と診断実務の支援事業として、レジストグラフ(穿孔抵抗値測定装置)を当協会で購入し、木材劣化診断士に貸出をしている。また、年間の活動報告として提出頂いている診断データ件数は増えている。

ii. 木材保存に関する普及啓発及び指導事業【公2】

a. 年次大会の開催

平成28年5月24日～25日、メルパルク東京(東京都港区)において、「第32回年次大会」を開催した。ポスター発表24件、口頭発表8件、公開シンポジウム「木材保存剤の変遷と分析の最前線」及び企業展示を実施した。

b. 木材保存技術奨励賞、木材保存学術奨励賞、年次大会ベストポスター賞、優秀ポスター賞の授与

木材保存に関する技術者・研究者の育成を図るため、平成28年5月24日に開催した総会において、優れた技術業績、研究業績に対して第27回木材保存技術奨励賞及び第13回木材保存学術奨励賞を授与した。また、「第32回年次大会」にお

ける優秀なポスター発表に対してベストポスター賞及び優秀ポスター賞を授与した。

c. 木材保存講座の開催

木材保存に関する新しい知識の習得を目的に「第34回木材保存講座」を平成28年12月2日、木材会館（東京都江東区）、12月6日、エル・おおさか（大阪府中央区）において開催し、179名が聴講した。

d. 木材劣化診断研修会の開催

劣化診断に関する新しい知識・技術の普及を図る為、平成28年度木材劣化診断研修会兼更新講習会」を平成28年8月2日、木材会館（東京都江東区）において開催し、54名が聴講した。

e. 会誌「木材保存」の発行

第42巻第3号～第6号、第43巻第1号～第2号を発行した。

iii. 適正な木材保存処理の推進事業【公3】

a. 木材保存剤等の新規認定、認定登録更新

消費者に対し効力と安全性に優れた木材保存剤等を提供するため、木材保存剤等の認定を行っている。今年度は新たに6製品（内訳：木材防蟻剤1製品、木材防腐・防蟻剤4製品、防蟻剤処理非木質系製品1製品）を認定した。

また、平成28年度中に登録の有効期間を満了する木材保存剤等については更新審査を行い79製品の登録更新を承認した。

b. 木材保存士の登録・育成

木材及び木質材料に関する保存処理の適正化及び保存処理製品の品質の安定・向上を担保することを目的に木材保存士制度を設けているが、その資格認定登録に関する「第36回木材保存士資格検定講習・試験」を平成29年1月26日～27日、木材会館（東京都江東区）において開催し、試験に合格した55名を新たに木材保存士として登録した。

c. 木材劣化診断士の登録・育成

保存処理木材等の劣化診断を行い、これらの材料を適切に維持・管理し、耐久性の向上を図ることを目的に木材劣化診断士制度を設けている。その資格認定登録に関する「平成28年度木材劣化診断士資格検定講習・試験」を平成28年9月13日に木材会館（東京都台東区）において開催し、試験に合格した20名を新たに木材劣化診断士として登録した。

②収益事業等

i. 木材保存に関する性能試験等の受託事業【収1】

a. 保存処理木材の実用化研究会の設置

企業会員2社より受託し、研究会を設置して実用化の研究を行った。

b. 木材保存剤等の性能試験

木材保存剤の開発等に係る性能試験を会員企業、非会員各1社より受注し、実施した。

ii. 日本木材保存剤工業会の事務受託

日本木材保存剤工業会より総会開催の案内、会費請求書の発行、資料の受発信、協会事務所での委員会開催準備等、総務機能の業務を受託し実施した。